

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるように!

私たちは地域・職域・学校など、  
生活のいろいろな場面で  
「健康寿命」をのばす運動を  
実践しています。

# よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2007(平成19)年3月15日 第407号

(財)東京都予防医学協会  
(財)予防医学事業中央会東京都支部

発行人 北川照男・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402

東京都新宿区市谷砂土原町1の2

保健会館 電話 03(3269)1131

http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行 年間購読料300円(1部30円)



## ● 今月の主な紙面 ●

(1面) ● 「職場の健康教育 健康管理を考え直す」で講演  
● 第41回予防医学技術研究会開く

(2~3面(見開き))

- 連載 暮らしと微生物—カビを中心に 最終回
- 連載 たばこ問題とその規制対策 第11回
- 新刊紹介/『国立がんセンター発 がんを防ぐ』
- 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ  
実践編 第11回

(4面) ● 健康づくり懇話会例会が開催

- 産業医訪問 第69回
- バリウム造影画像が最優秀技術賞を受賞・本会
- 保健会館クリニックのウェブサイトを開設—本会
- 人・往来

## 「職場の健康教育 健康管理を考え直す」で講演

2008年度から医療保険者に、40歳以上の加入者に対する特定健診・特定保健指導の実施が義務付けられることとなり、健康管理の現場でもその対応をめぐり模索が続いている。こうした中、健康管理コンサルタントセンターと本会が主催する第211回ヘルスケア研修会が1月31日、東京・永田町の星陵会館で開催された。研修会では、健康管理コンサルタントの草分けとして長年健康教育に携わってこられた岡惺治健康管理コンサルタントセンター会長(写真)が「職場の健康教育—健康管理を考え直す」と題する講演を行った。今回はその一部を紹介する。

### 現場を把握し集団特性に応じた 健康管理の徹底が重要と強調

#### 第211回ヘルスケア研修会

岡会長は、産業医や顧問医、嘱託医の立場で産業保健に、フリーの立場で執筆、講演、放送にと幅広い分野で活動を続けてこられた方である。講演では、その豊富な経験をもとに、「職場の特徴と問題点」「関連用語についての考察」「改めて健康教育について」「産業看護への私見」「健康診断という健康教育」「ストレス時代と健康相談」「現場の重要性と反省」の7項目について詳細な解説が行われ



た。このうち職場の健康教育を推進するための課題について

「現場ごとに集団特性は大きく異なる。他の職場はどうあれ、自分の所属する職場

していない。このため、広義の健康教育技術は、健康教育のための機会をどのように作っていくかといったところから始まる」とし、「健康管理体制が整備され、機能し続けることが職場の健康教育の基盤となる。健康管理(労働衛生管理)活動の技術的な反省と改善が職場の健康教育の第一歩である」と述べた。そ

「健康教育」は、健康管理の現場でもその対応をめぐり模索が続いている。こうした中、健康管理コンサルタントセンターと本会が主催する第211回ヘルスケア研修会が1月31日、東京・永田町の星陵会館で開催された。研修会では、健康管理コンサルタントの草分けとして長年健康教育に携わってこられた岡惺治健康管理コンサルタントセンター会長(写真)が「職場の健康教育—健康管理を考え直す」と題する講演を行った。今回はその一部を紹介する。

「健康教育」は、健康管理の現場でもその対応をめぐり模索が続いている。こうした中、健康管理コンサルタントセンターと本会が主催する第211回ヘルスケア研修会が1月31日、東京・永田町の星陵会館で開催された。研修会では、健康管理コンサルタントの草分けとして長年健康教育に携わってこられた岡惺治健康管理コンサルタントセンター会長(写真)が「職場の健康教育—健康管理を考え直す」と題する講演を行った。今回はその一部を紹介する。

「健康教育」は、健康管理の現場でもその対応をめぐり模索が続いている。こうした中、健康管理コンサルタントセンターと本会が主催する第211回ヘルスケア研修会が1月31日、東京・永田町の星陵会館で開催された。研修会では、健康管理コンサルタントの草分けとして長年健康教育に携わってこられた岡惺治健康管理コンサルタントセンター会長(写真)が「職場の健康教育—健康管理を考え直す」と題する講演を行った。今回はその一部を紹介する。

## 第41回予防医学 技術研究会開く

予防医学に関する検査・健診の技術水準の向上と、検査・健診技術上の研究成果を発表、検討する第41回予防医学技術研究会が2月22、23日の2日間にわたって新潟市の朱鷺メッセで開催された。研究会には、予防医学事業中央会傘下の全国37都府県支部の検査技術担当者や関係者ら約200人が参加した。研究会は「新たな予防医学技術の向上をめざして」をテーマに、寄生虫・ノロウイルス、健康支援、超音波検

査、健診技術、がん検診、小児保健、生理機能といった7部門、38題の研究発表が行われたほか、特別講演「生活習慣病の発症は胎児期にさかのぼる」、ミニシンポジウム「内臓脂肪症候群」「細胞診」、フォーラムディスカッション「特定健診・特定保健指導への取り組み—平成20年度からの体制づくり」が行われた。このうちフォーラムディスカッション(座長 山根則幸 予防医学事業中央会常任技術委員)では、2008年度

からの新しい健診・保健指導に向けての取り組み(福井・石川)、ウエスト周囲径のデータを得られた事業所の健診成績(愛媛)、個別健康支援の指導効果(神奈川県)、国保ヘルスアップ事業への取り組み(栃木)が報告された。また特別講演では、内山聖新潟大学医学部部長が、胎児期の栄養状態と将来の生活習慣病発症との関連を示す最近の研究報告などを紹介しながら、妊娠中からの適切な栄養状態の維持や、小児期における適正な生活習慣確立の重要性などを解説した。

## 個人情報取扱について

日ごろより、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。そのうえで今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

## 健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

お問い合わせ・ご相談は(予約制)  
電話 東京(03)-3269-1141  
健康管理コンサルタントセンター

事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1の2  
(財)東京都予防医学協会

### ◆◆ コンサルテーションのごあんない ◆◆

- 4月 4日 岡 惺治 (健康管理コンサルタント)
- 11日 三輪祐一 (東京都予防医学協会総合健診部長)
- 18日 岡 惺治
- 25日 三輪祐一

- 5月 2日 三輪祐一
- 9日 岡 惺治
- 16日 三輪祐一
- 23日 岡 惺治
- 30日 第213回ヘルスケア研修会につき休み



